

一年漁師

—寄り道から始まるつながり—

株式会社天洋丸（橘湾東部漁業協同組合所属）

竹下 千代太 檜森 友香子

1. 地域の概要



長崎県雲仙市は島原半島の北西部に位置し、北岸は有明海、西岸は橘湾に面している。日本で最初に国立公園として指定された雲仙、夕日の美しい小浜温泉を有し、観光地としても有名である。雲仙市の一番端にあるのが、私たちが住む南串山町。特産品は煮干、ジャガイモ、レタスで、一次産業が主体で自然豊かで景観が美しいところである。

2. 漁業の概要

所属している橘湾東部漁協の2023年度末の漁協組合員は、正119人、准294人、合計413人。昨年の水揚げは鮮魚海藻類で686トン、煮干等加工品が814トンであった。沿岸漁業については、橘湾内を操業区域とする中型まき網、敷網などイワシ漁が水揚げの多くを占めている。また、ハマチ、ヒラス、タイなどの養殖業も盛んに行われている。さらに、カジキ等流し網や沖合固定式刺し網、さらにはサンマ棒受け網などの沖合漁業を行っている経営体もいる。

3. 株式会社天洋丸の組織と運営

株式会社天洋丸は2015年に法人化し、「水産資源の価値を高め、人々を笑顔にする」を会社のミッションに掲げ、さまざまな活動を行っている。

メインとなる業務は、中型まき網漁業。漁灯に集まった魚の群れを大きな網でぐるりと囲み、徐々に網をしぼって小さくしていきながら漁獲する漁法。魚を集める集魚灯のついた探索船（灯船）、漁網を載せた本船（網船）、魚を運搬する運搬船などの8隻で天洋丸船団は構成されている。そのため、数多くの乗組員が必要となるが、今から10年前の2013年は従業員数36人と少

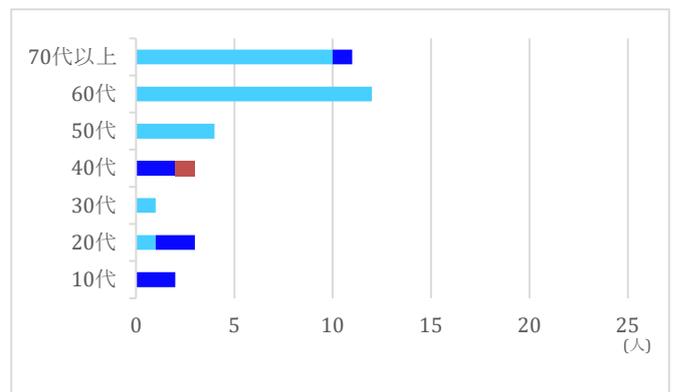


図1 2013年5月時点の従業員数（36人）

なく（図1）、高齢の方が多かったため、担い手の確保が課題であった。まずは、従業員寮を建設し、居住環境の整備に注力した。そして、積極的に漁業就業者フェアなどの求人イベントに参加するとともに、労働時間の見直しや休日の設定など雇用環境の整備に力を入れてきた。また、漁業や水産に興味を持ってもらえるよう、漁師体験（観光客向け数時間～学生対象数週間の滞在型）の受け入れも行い、タコつぼ漁、養殖しているサバの餌やり、操船体験、ロープワークなどを行っている。

4. 「一年漁師」プロジェクト開始の動機

2020年3月頃日本でも新型コロナウイルスの感染者が急増し、飲食業やホテル業など仕事を失った方や、休学をする学生も増えていった。この流れは1年経っても収まることはなく、将来に不安を感じる人が多くいたため、天洋丸でも何かできることがないか模索した。自分の将来を今決める必要はない、働き方はこうあるべきというものもない、いろんな生き方を漁師として働く中で見つけてほしいと考え、1年限定の漁師を募集することを2021年2月に企画した。当初、コロナ禍で仕事がなくなってしまった方、漁業や漁村での暮らしに興味がある方、魚や釣りが大好きでちょっと人生の寄り道をしたい方、飲食店のオーナーで従業員を漁業の現場で研修させたい方などを想定した。

5. 実践活動の状況および成果

(1) 募集内容・方法

一年漁師の仕事内容は、新卒正社員と同様にまき網本船での作業や、鮮魚処理、網修理などの陸上作業、さらには簡単な水産加工業。休みは年間約100日、就業後すぐに10日の有給も付与。給与も新卒正社員と同様の額を支給。年2回の賞与、社会保険、家具家電付きの住宅など福利厚生も充実させた。必要な資格は、田舎暮らしのため運転免許のみ。車は1年間社用車を貸し出すことにした。

募集方法は、ポスターを大学構内、飲食店、関係店舗に貼り、周知をするとともにFacebookへの投稿で拡散を図った（写真1、2）。



写真1、2 一年漁師ポスター

(2) 出向社員としての「一年漁師」～平山圭悟～

Facebook で交流のあった「煮干しラーメン風」の社長が一年漁師の企画内容に賛同し、社員を煮干しの生産現場で勉強させてほしいと、最初の「一年漁師」に出向させた。平山さんは新型コロナウイルスの影響で予定していたアメリカへの異動が延期になっていたため、渡米までの3カ月間の「一年漁師」であった(写真3)。

天洋丸の業務のみならず、ラーメン作りのプラスになるような、地域の加工場の見学なども行った。得意とする煮干しラーメンを地元食材で作り、イベントや福祉施設で振舞い、地域交流に大いに貢献した。また、note や Twitter(現在のX)で、漁師の生活について自身の思いを綴っていたことをきっかけに、テレビや新聞などのメディアの取材があった(写真4)。【期間：2021年3月～6月】



写真3 平山圭悟修了式



写真4 2021年7月放送NHK
イブニング長崎

(3) 女性の「一年漁師」～岸本希望～

埼玉の飲食店で働いていた岸本さんは、ずっと船に乗ってみたいと漁師に対して憧れを持っていたが、女性は漁師になれないと諦めていた。「#女漁師」で検索した際、天洋丸の Instagram で女子大学生が漁師体験を行っている投稿が目にとまり、そこで「一年漁師」を知り、漁師の世界に飛び込むことを決意した。InstagramのDMでやり取りを開始して、2週間後には埼玉から南串山町に移住した(写真5)。

前職でSNSの発信も行っていたため、一年漁師のアカウントを作り、漁師の魅力をアピールすることも担当(写真6)。女性ならではの細かい気づきやこまめな報告など、他の社員の足りない部分を補う役割も担っていた。地元の他の漁業者とも積極的に交流し、自身のスキルを高めていた。【期間：2022年4月～】



写真5 養殖作業中の岸本希望



写真6 2023年11月時点の岸本希望のInstagram

(4) 大卒新卒「一年漁師」～檜森友香子～

大学時代、国際系の学部で学び、コロナ禍で3年時に休学をした際、ノリ養殖のアルバイトをきっかけに、漁業に興味を持った檜森さん(写真7)。岸本さんのInstagramで「一年漁師」を知り、漁師体験を経て、大学卒業後、2023年4月から一年漁師となった。現在まで、日々の漁撈作業に加え、「漁師体験」のアテンドや、天洋丸の新規取り組みである「漁船ピング」の内装の整備に携わっている(写真8)。「漁船ピング」とは、昼間停泊中のまき網漁船を有効活用すべく、漁船内を改装しワーケーションスペースとして提供するサービスである(写真9)。檜森さんがアテンドすることで、年齢や性別を問わず、漁師に興味を持ってくれる人、天洋丸ファンが増えることに期待している。また、小型船舶免許の取得やフォークリフト運転講習の受講など、意欲的に仕事上のスキルアップを目指している。【2023年4月～】



写真7 現在の「一年漁師」檜森友香子



写真8 漁船ピング内装



写真9 漁船ピングポスター

(5) 「一年漁師」が天洋丸にもたらしたこと

ラーメン風で10年以上勤務していた平山さんを受け入れたことで、仕事に対して真摯に向き合う姿勢が天洋丸社員にとって規範となった。また、ラーメンスープの原料として煮干しの注文がくるようになり、ラーメンと煮干しを軸にした交流は現在も継続している。

「一年漁師」として女性を受け入れたことで、本船と運搬船にトイレを設置し、生理休暇の有給への変更と日数の増加など、就業規則の改定を行った。岸本さんは「一年漁師」を卒業した現在も、地域や仕事に愛着を感じ、そのまま天洋丸で漁師として働いている。特に新人に対して「見て覚えろ！」ではない丁寧な指導を心がけ、後進育成を行っている。さらに高いコミュニケーション能力を活かし鮮魚の販路拡大も積極的に行っている。

「大卒」「女性」「新卒」の檜森さんを雇用したことにより、大学生が天洋丸に興味を持ってくれ、従来の漁業会社としてのイメージを変えることができた。漁業者以外との交流も盛んに行っており、そこで得た知識を活かし、漁師体験では海だけではなく地形や地勢の話も含めて説明するなど、厚みのある解説に磨きをかけている。檜森さんの英語のスキルを活かし、英語版のパンフレットなどの海外へ目を向けた販促ツールや、さらには動画の字幕やInstagramなど発信コンテンツも英語を使って天洋

丸をアピールしてくれている（写真 10、11）。



写真 10、11 英語を使って漁師の仕事を発信している檜森友香子の Instagram

6. 波及効果

平山さんは、ラーメンを通じて地域の方々との交流を行った。令和3年4月に行われた地元の祭り「オバマルシェ」では、長崎県橘湾産煮干しを使用したオリジナル煮干ラーメンを限定 200 食提供した。他にも、デイサービス・保育園にて地元食材にこだわったラーメンを振舞い、地域の方々に感動を与えた（写真 12、13）。



写真 12 保育園でラーメンを振舞う平山圭悟



写真 13 デイサービスで歓迎される平山圭悟

岸本さんは、一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが開催する漁業就業者フェアやオンラインセミナーに参加し、女性漁師としての体験を語り、漁師を目指す女性の後押しをしている（写真14）。また、新聞やテレビなど数々のメディアにも取り上げられ、水産業界を盛り上げている。

「一年漁師」として経験したことやさまざまな出会いが、こういった地域や水産業界にもたらす波及効果を生む。檜森さんはこれまでに、地域活性化の取り組みにも積極的に参加し、雲仙観光局の活動にも携わっている。雲仙市はインバウンド向けの観光コンテンツの開発に力を入れており、昨年10月の「天幕レストラン」というイベントに天洋丸のメンバーと共にスタッフとしてサポートを行った。また、東京海洋大学の学園祭「海鷹祭」の水産人（すいさんちゅ）カレッジのブースで一年漁師として自身の感じたことを発信した（写真15）。水産人カレッジは、全国各地の漁村を訪れ、その体験をSNSで発信、定期的に勉強会を開催している学生団体。最新の研究の結果などを、水産現場に出向き共有し、水産業界の課題

に取り組む仲間、水産人を増やすことを目的としている。檜森さんのこうした活動が地域や水産業界にとって良い効果をもたらすことを期待している。

檜森さんは、2024年3月に一年漁師を修了する。今後については技能実習生や在日外国人の暮らしをサポートし、水産業界を漁師とは違った形でサポートしていきたいと考えている。漁師体験のアテンド、インドネシア技能実習生と働いていて感じた、文化や考え方の違いからそういった道へ進みたいという思いが強くなっていった。

7. 今後の課題や計画

今後も「一年漁師」を継続するにあたり、課題は当然「一年漁師」の確保である。現在、「一年漁師」の取り組みは主にSNSで発信している。天洋丸のInstagramのフォロワーの男女比と年齢の割合は、男性が多い（図2、3）。しかし、漁師の仕事に興味を持つ女性も多く、特に女性が漁師体験している投稿は「いいね」の数も多くなっている。今春には水産人カレッジメンバー複数人が漁師体験に来る予定であり、このような滞在型の漁師体験が、次の一年漁師に繋がる、と大いに期待している。



写真14 漁業就業者フェアに参加する岸本希望（左）



写真15 海鷹祭初日の様子

これまで3人の一年漁師は、さまざまなメディアに取り上げられた(表1)。これからもメディアの露出が増え、この活動に賛同してくれる人が増えるようアピールしていきたい。

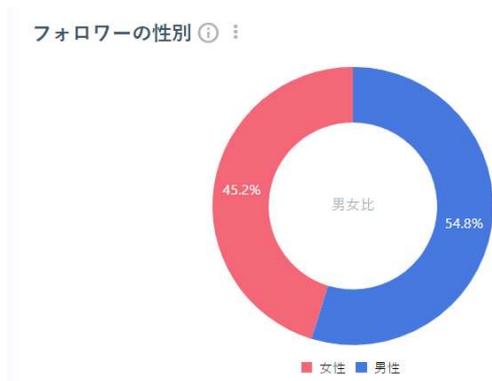


図2 Instagramのフォロワーの性別

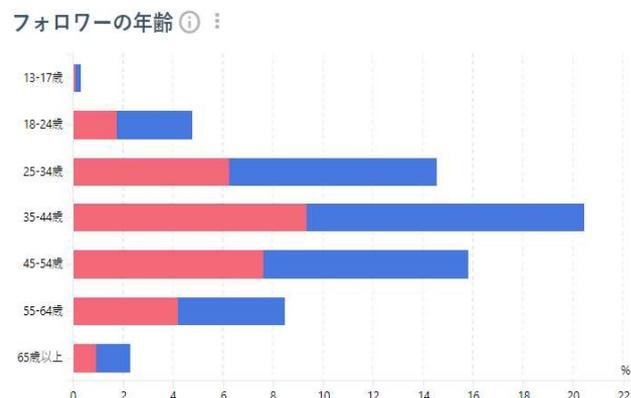


図3 Instagramのフォロワーの年齢

掲載・放送日	メディア名	取材対象者
2021年5月24日	長崎新聞 「地域総合」	平山圭悟
2021年7月7日	NHK総合・長崎 「イブニング長崎」	平山圭悟
2023年2月12日	NBC長崎放送 「世界一の九州が始まる！」	岸本希望
2023年3月3日	KBC九州朝日放送 「アサデス」朝イチスクープ (YouTubeにも掲載)	岸本希望
2023年3月3日	漁師.jp 公式 YouTube 「漁師の仕事！女子セミナー」	岸本希望
2023年6月23日	とととって motto! 「ひと咲く vol.2」	岸本希望
2023年6月22日	ひまわりテレビ 「ひと咲く vol.2」	岸本希望
2023年6月23日	雲仙市公式 YouTube 「ひと咲く vol.2」	岸本希望
2023年12月4日	読売新聞	岸本希望・檜森友香子

表1 掲載メディア一覧

「一年漁師」の取り組み自体の成果や答えは、すぐに出るものではないと考えている。人生に正解がないように、「一年漁師」にも正解はないが、人生のたった一年の寄り道の中で得た繋がりが、彼ら彼女ら、そして天洋丸の素晴らしい未来への道につながる、と確信している。今後も天洋丸は「一年漁師」と「一生漁師」を募集し続け、多様な価値観を持つ人材との縁を大切にしていきたい。